

放送内容

緊急時

- 地震・津波・気象等に関する情報
- 緊急地震速報（推定震度4以上）
- 大規模テロや弾道ミサイル等の情報
- 地域の安心・安全に関する情報
- その他の緊急事態に関する情報
- 災害時における市民へのお知らせ

平常時

- 定時放送（毎日午後5時）
（夕焼け小焼けのメロディ）
- 行政関連のお知らせ など

こちらは、ぼうさい わかやましてす



放送例

大津波警報 (東日本大震災クラス)	ウ〜↑ ウ〜↑ ウ〜↑ (サイレン3秒吹鳴2秒休止×3回)	大津波警報。大津波警報。 東日本大震災クラスの津波が来ます。 ただちに高台に避難してください。
緊急地震速報 (推定震度4以上)	チャラン チャラン↑ チャラン チャラン↑ (緊急地震速報チャイム)	緊急地震速報。大地震です。大地震です。
国民保護情報 (弾道ミサイルに関する情報)	ブー ↑↓ (有事サイレン14秒吹鳴)	ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。 当地域に着弾する可能性があります。 屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。
気象に関する情報 (大雨警報)	ピンポンパンポン↑ (4音チャイム)	こちらは防災和歌山市です。 当地域に大雨警報が発表されました。 今後の気象情報に注意してください。

災害に備えた防災情報の収集手段

防災行政無線は屋外放送設備ですので、防災行政無線との位置関係、気象状況、周辺建物などの障害物による影響、また、建物内では聞き取り辛くなることから、他の情報収集手段もあわせてのお願いをしています。

防災行政無線と同じ内容が確認できます

和歌山市防災情報電話案内サービス

同じ内容を聞くことができます。(自動再生)

0120-077-199 通話料無料
0180-997-199 通話料有料

和歌山市防災情報メール

放送内容をメールで受信できます。

ご登録ください →

和歌山市防災行政無線放送内容

放送内容を市のホームページから確認できます。

<http://wakayama-city.site.ktaiwork.jp/> →

テレビ（データ放送）

放送内容をテレビのデータ放送で確認できます。
 テレビ和歌山（5ch）にチャンネルを合わせdボタンを押す
 →市町村情報を選ぶ→防災行政無線放送内容を選ぶ

緊急告知 防災ラジオ（有料）

ラジオの電源が自動的に入り、防災行政無線の音声が割り込み放送されます。
 →エフエム和歌山（87.7 MHz）

防災情報サービス専用端末（有料）

防災行政無線の音声が自動で専用端末から放送されます。
 →J: COM

緊急速報メール・エリアメール

携帯電話利用者に、国からのJアラート情報や、市からの避難情報などが送信されます。

テレビ（データ放送）

→NHK（総合）▶1ch [チャンネルを合わせてdボタン]
 →テレビ和歌山 ▶5ch

ラジオ

→NHK（ラジオ第1）▶666kHz
 //（FM）▶84.7MHz
 →和歌山放送（AM）▶1431kHz
 //（ワイドFM）▶94.2MHz
 →エフエム和歌山 ▶87.7MHz

インターネット（HP・SNS）

▶和歌山市ホームページ
 ▶和歌山市ライン公式アカウント
 ▶和歌山市公式フェイスブック
 ▶和歌山市役所ツイッター
 ▶和歌山市災害警戒・対策本部ツイッター

和歌山市
 危機管理局 危機管理部 総合防災課
 ☎640-8157 和歌山市八番丁12番地
 Tel 073-435-1199 / Fax 073-435-1299



和歌山市 防災行政無線システム

誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち



防災行政無線システム

防災行政無線システムは、市民の皆様迅速かつ効率的に情報をお届けするためのシステムで、平成9年4月から運用を開始しています。

消防庁舎の無線室にある操作卓から発信した情報は、市役所本庁舎屋上の送受信アンテナから送信され、市内各所に設置している屋外拡声子局（スピーカー）から放送されます。

これとは別に、弾道ミサイル情報、津波情報、緊急地震速報等、対処に時間的余裕のない事態に関する情報は、国から人工衛星及び地上回線を用いて送信され、防災行政無線（同報系）等を自動起動することにより、瞬時に住民に対し伝達する全国瞬時警報システム（Jアラート）も備えています。

これらの放送内容は、同時に防災情報メールの送信、防災情報電話への録音など、他の手段でも情報をご確認いただけます。

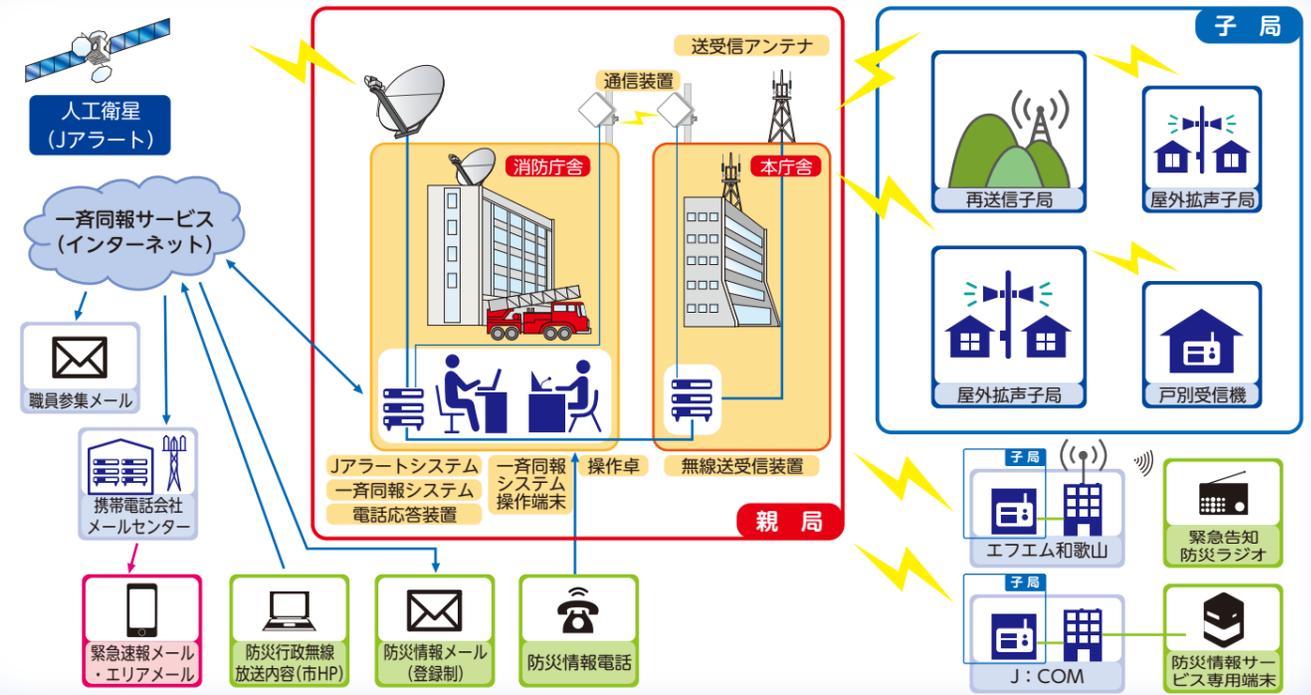
平成29年度から令和3年度にかけて行った再整備では、津波が予想される沿岸部や河川域、災害時に避難所となる市立小学校に加え、84か所に増設することにより、土砂災害が予想される地域なども含め市内全域の住家地域に情報をお届けできることとなりました。

また、機器の故障や被災などに備え、非常用親局装置、予備操作卓、2重の通信回線など、様々なバックアップ体制を構築しています。



和歌山市長 尾花 正啓

防災行政無線システム構成



操作卓

防災行政無線の操作卓は総合防災課（消防庁舎6階）に設置しており、操作卓での入力や操作で、親局を通して屋外拡声子局に発信します。



送受信アンテナ



屋外拡声子局(スピーカー)

災害情報、避難情報の緊急情報などを、市民の皆様へ、いち早く屋外放送でお伝えすることができます。また、停電時でも72時間稼働するバッテリーを装備しています。



Jアラートシステム
一斉同報システム
電話応答装置



非常用親局設備



親局
(送受信装置)



戸別受信機

防災行政無線の屋内用の受信機で、避難所となる公共施設や要配慮者利用施設、自主防災組織などに設置しています。

沿革

- 平成 9年 4月 防災行政無線システムの運用開始
71局（津波が予想される沿岸部や河川域（津波浸水予想エリア））
- 平成 20年 7月 全国瞬時警報システム（Jアラート）の運用開始
123局（避難所となる市立小学校に52局増設）
- 平成 24年 4月 124局（藤戸小学校に1局増設）
- 平成 26年 4月 130局（津波浸水予想エリアの可聴範囲を100%とするため6局増設）
- 平成 26年 11月 140局（津波浸水予想エリアの可聴範囲を100%とするため10局増設）
- 令和 3年 5月 防災行政無線システムの再整備（アナログ局のデジタル化・親局設備の更新）
224局（市内全域（住家地域）の可聴範囲を100%とするため子局84局増設）

